

公益社団法人 守山青年会議所
2015 年度 第 1 回理事会
議事録

日時 2014 年 9 月 18 日 (土) 20:00～21:10

場所 事務局 2 階

出席者

役職	氏名
理事長	田中 尚仁
直前理事長	渡辺 年貴
副理事長	清原 大晶
副理事長	三品 知寛
専務理事	藤本 進矢
理事	姥ヶ谷 秀一
理事	河村 慎司
理事	前田 茂樹
理事	村田 徹
理事	佐藤 理恵
理事	西田 裕美

遅刻	なし
欠席	なし

1.開会	専務理事
2.JCI クリード唱和	河村理事
3.JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和	姥ヶ谷理事
4JC 宣言文朗読並びに綱領唱和	佐藤理事
5.理事長挨拶	田中理事長

改めましてこんばんは。まずは、2015 年度第 1 回理事会の開会に際しまして、理事の皆さん、そして役員の皆さん、全員が揃った上で開催できることを心より感謝申し上げます。ありがとうございます。我々、2015 年度の理事、役員のメンバーでございます。これまで準備を進める段階ではまずは、私一人で動き出した分もあり、そして執行部が決まり、そしてこの間の 10 日の総会において、理事の皆様、すべてご承認頂きました。徐々に周りが固まっていき、私もどんどん背中を押してもらっているように感じておりましたし、今日実際始まるまでは少し不安な部分もあったのですが、皆さんの顔を拝見して、このように第 1 回の理事会が開会できたことで今はすごく心強く感じております。私自身、2015 年度の理事長をさせて頂くという所で今までももちろんやったことのない役職でございますし、不安もありましたが、やはりこの、私が好きな守山そしてこの、守山青年会議所のためにといえますか背負って 1 年間、やりとげたいという覚悟をもって今ここに、この立場で立たせていただいております。理事のみなさん、それぞれ初めての役職であったり、理事会を何度か経験されている理事の方もいらっしゃる。ただ、この 2015 年度このメンバーで活動できるのはこれからこの先の 1 年 3 ヶ月この限ら

れた時間でございます。丁度、45年目という大きな節目も迎えさせて頂く年でもあります。過日、ブロック大会を我々、守山青年会議所主管で見事に成功に導けたと私は思っておりますし、それをやり遂げた皆様が、2015年度を引き続き、精一杯といいますか、覚悟をもって活動していただければ必ず、素晴らしい1年になると私は確信しております。その始まりでもあります、本日第1回の理事会、私の所信そして組織図のことと、重要な案件がたくさんございます。どうぞ慎重審議のほど、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

6.直前理事長挨拶

渡辺直前理事長

皆さんこんばんは。第1回の理事会すべての理事、そして役員の皆様おそろいのなかでまずは開催されることを心よりお喜び申し上げます。ありがとうございます。ちょうど私も1年前、こういった形で第1回理事会を向えました。恐らく、田中理事長は少しの不安と大きな期待を胸に、今日ここに立たれているのだと思います。やれ、不安は最初は尽きないものですが冒頭にもありましたように皆さんの顔をみるとやはり少し安心するものでしょうし、やるぞという気持ちも湧いてくるものだと思います。理事会、初めての理事の方もいらっしゃるでしょうし、私なりに理事会について少しお話させて頂きたいと思います。理事会というのは同然、議論を交わす場でございます。そのなかで近年、少し疑問に思ったことがありましたのでやっぱり理事会というものは皆さん事前に資料をみていただいてそのなかで、ようは書きたらないここはどういう意味なのかを質問もしくは、確認にする場、もしくはやはりもっとこうすればという想いを投げかける場だと思います。たとえば誤字だとか脱字だとかそういったものをこの場で指摘する場ではありませんのでそういった意味では大いにこの場でみなさんの想いをぶつけていただくそれこそが守山青年会議所のこれからに繋がってまいります。そういった意味で理事会を皆さん、心構して臨んでいただきたいと思います。そしてもう1つ、来年は理事長のお話にもありました通り45年という節目の年でもあります。色んな諸事業、これから準備を進めていくと思います。ただ僕たちは45年の事業のためだけに運動しているわけではありません。僕たちはその先にある、これはあくまで通過点で僕たちの運動というのはやはり市民の皆様へ僕らの運動を伝え意識を変えるそれが私たちの運動であります。ですから、あくまで45周年の諸事業がそれが、通過点でありますし、もちろんそれが成功しなければ次の運動も始まっていけないと思います。けれどもそこはあくまで通過点であるという認識のなかで2015年度の運動をしていっていただきたいと思います。最後に1つ、今年は私も含めて青木監事ももう1年残らしてもらいますけれども、2014年度は10名の卒業生がおります。共に活動できるのは残り3ヶ月でございます。初めての理事の方、また何回かされている理事の方もいらっしゃいます。やはりクセの多いまた皆さんにとってはなかなかとつきにくい49もいるかもしれません。ただみんなやっぱりJCが好きで守山JCを愛しているからこそ言葉も出るし、行動にあらわれるのだと思います。残りのですね、やはり卒業するとなかなかアドバイスの現役の方に伝えるにくいところもありますので是非ともこの3ヶ月の間にですね、疑問もしくは自分に不安なものがある場合は49の方に助けて頂いて素晴らしい2015年度の糧に肥やしていただきたいと思います。本日はですね2015年度を素晴らしいスタートをきれます理事会になりますことを心からご祈念申し上げまして冒頭のあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

7.議長選出

理事長より直前理事長を指名される

8.定足数の確認

専務理事

10名中10名の出席です。定款第42条により本理事会は成立するものとする。

9.オブザーバーの承認

専務理事

本日はございません。

10.議事録作成者の指名

議長

作成者: 事務局

11.提出資料の確認

専務理事

■提出資料■

- ・2015 年度 公益社団法人守山青年会議所 理事長所信（案）
- ・2015 年度 公益社団法人守山青年会議所 基本方針（案）・運営方針（案）
- ・2015 年度 公益社団法人守山青年会議所 事業計画（案）
- ・2015 年度 公益社団法人守山青年会議所 組織図（案）

12.報告事項

理事長 9 月 22 日 2015 年度第 1 回会員会議所開催の件

専務理事 10 月 3 日滋賀ブロックリレードセレモニー開催の件
10 月 22 日第 2 回理事会開催の件
11 月 17 日第 3 回理事会開催の件
12 月 17 日第 4 回理事会開催の件

13.終了時刻の設定 専務理事より 21:30 の提案

14.議案の採択 議長

(審議案件) 議長より本日の審議事項第 11 号議案その他上程を求められたが、上程がないため第 11 号議案が抹消される

15.審議

第 01 号議案 2015 年度理事長所信(案)並びに基本方針(案)・運営方針(案)承認に関する件(理事長)

田中理事長 読み上げ

西田理事

理事長の考えておられるインパクトはどのようなものをお考えでしょうか

田中理事長

インパクトの意味は印象強いという意味と特に影響を与えるという意味での使い方をしております。

西田理事

文章のなかによりインパクトを与えるとあるのですが、印象や影響を与えるために会員拡大が絶対条件とされているとした場合、インパクトを与えられないということでしょうか。そうではなく会員拡大のための影響として必要あるということでしょうか。

田中理事長

2 通りの意味合いと考えています。会員拡大には色々な方に伝えるということがあります。そのことにより我々、守山青年会議所の運動が伝えた方にはどういった運動をしているのかを伝えることができ、拡大活動こそが運動発信に繋がると考えています。そして、そこでメンバーを獲得できたのであれば数はある意味、力ですからその大きな力で事業等を行いたいと考えています。

西田理事

人数が力になるという意味と拡大をすることで地域の人々に運動を伝えていけるという意味でよろしいでしょうか。

田中理事長

はい

西田理事

理解しました。

佐藤理事

前半の部分で会員拡大が地域へのインパクトを与える絶対条件ということはわかるのですが、それに固執することなく人数が少なくても JC の活動を我々が楽しく生き活きとしていることがわかるような文章があればよかったかと思います。新しい取り組みとして 4LOM 合同例会をされるなかで、どのようなイメージをお持ちでしょうか。

田中理事長

例会のホストに関してはどこかの LOM が中心となって進める流れとなっています。

佐藤理事

新しい取り組みの例会ですので楽しみにしております。45 周年を与える事業をするという文章があり、数多くインパクトという言葉が使われていますが現状では、よりいっそうのインパクトを与えるということはとてもハードルが上がっているように思いますが、理事長の思われるインパクトをもう少し明確に教えてください。

田中理事長

2014 年度ブロック大会を成し遂げました。現状で成しえないと私は考えておりません。今の我々ができることという意味ではなく、未来の守山のために我々が活動すれば地域の方にはインパクトを与えられると考えています。それには人数は影響されないと考えます。また、45 周年の事業として社会開発の事業を考えており、街の明るい未来の運動を地域に与えたいと考えています。

佐藤理事

理解しました。最後に文章の語尾の統一をされた方が読みやすいのではないかと感じました。

河村理事

インパクトある組織へのなかで SNS の活用をふれられていますが、現状のフェイスブックの活用では情報共有の限界を感じているのですが、新たなツールなど具体的に考えられておられることはありますか。

田中理事長

詳細に手法まではありませんが、例えば事業の感想ページを設けたり、今以上に有効な使い方があるのではないかと考えています。それを調査研究していただきたい。

河村理事

理解しました。

採決 _____ 全員の挙手をもって承認される

第 02 号議案 _____ 2015 年度公益社団法人守山青年会議所 事業計画（案）承認に関する件

理事長 _____ 読み上げ

採決 _____ 全員の挙手をもって承認される

第 03 号議案 _____ 2015 年度公益社団法人守山青年会議所 事業計画（案）承認に関する件

理事長	読み上げ
採決	全員の挙手をもって承認される

第 04 号議案 2015 年度正副委員長指名承認に関する件（理事長）

理事長	読み上げ
採決	全員の挙手をもって承認される

第 05 号議案 2015 年度財政局長並びに事務局長指名承認に関する件（理事長）

理事長	読み上げ
採決	全員の挙手をもって承認される

第 06 号議案 2015 年度事務局員指名承認に関する件（理事長）

理事長	読み上げ
採決	全員の挙手をもって承認される

第 07 号議案 2015 年度出向役員指名承認に関する件（理事長）

理事長	読み上げ
採決	全員の挙手をもって承認される

第 08 号議案 2015 年度委員会編成承認に関する件（総務広報委員会）

総務広報委員会	ドラフトによる委員会編成
採決	圧倒的多数の拍手をもって承認される

第 09 号議案 2015 年度特別委員会設置承認に関する件（理事長）

理事長	読み上げ
採決	全員の挙手をもって承認される

第 10 号議案 2015 年度特別委員会委員指名に関する件（理事長）

理事長	読み上げ
採決	全員の挙手をもって承認される

16.議案の採択（協議事項）

議長	議長より本日の協議事項第 01 号議案その他上程を求められたが、上程がないため第 1
----	--

号議案が抹消される。

<u>17.協議</u>	なし
<u>18.委員会報告</u>	なし
<u>19.監事総評</u>	

青木監事

お疲れ様でございます。全理事、役員が時間までにきっちり揃われて理事会を開催されたことを非常に素晴らしいことだと思います。また、理事長所信ですね審議承認されましたこと誠におめでとうございます。本日の理事の挙手により、理事長所信が承認されたわけですが所信に関しまして理事長の想いを今日手を挙げた方はメンバーの方にもし聞かれた場合は、しっかりと代弁していただいて理事長のしっかり伝えていただきたいと思います。それと、細かいところに関しますと、色々と私も理事長所信読まさせていただきました。各種団体との連携ということが書かれているところがございますので、今日の理事会のスケジュールの調整、本当に大変やったと思うんですけど、我が街守山ですね今日は商工会議所青年部の総会が開催されています。そういったところには我々の先輩もたくさんおられますし、今日は市長、もちろん清原会頭が来られてるなかですので、そういったスケジュールの管理というのはしっかりとして頂いてですね、本来はそちらに行つてですね色々な、ブロック大会のお礼したりとかですね、そういったところを、本年度の話になりますが、気の利いた団体である方がいいのかなあとちょっとだけ個人的に思いましたので、またあとでみなさんでこの後考えていっていただきたいなと思います。それと、新しく初めて理事をされる方もおられると思いますので、何はともあれ楽しく守山青年会議所を引っ張っていっていただきたいと思います。若いメンバーもおられます。特に委員長ですね、委員長の背中をみているメンバーの方がおられますので理事長がおっしゃるように、自信と誇りを胸にですね、一年間大変だとは思いますががんばっていただきたいという風にお願いして、監事総評とさせていただきます。お疲れ様でした。

岩崎監事

皆さん、予定時間より大分早く終わりましたが、大変お疲れ様でした。無事ですね全理事がお集まりのなかですねこの理事長所信というのが審議可決いただきました。この理事長所信というのはやはりこの守山青年会議所のなかでやはり一番核となる一番重いものになると思いますので皆さんが今日ですね、色々と意見もございましたけれどもここでですね審議可決したということは、本当に重い意味があるということをですね自覚していただいitですね、これから1年間やっていただきたいなと思います。皆さん緊張しているのかわからないですが元気がなかったというところがありました。だからちょっと早く終わったということもないことはないんですけど理事長所信、田中理事長ですね本当は全員の理事の方から色々ご質問、意見をいただきましたかったと心の中では思っていると思うんですけど、なかなかそうはいかなかったというところですね、意見、質問がされてなくてもですね実際には色々分かってらっしゃると思いますので委員会メンバーに聞かれたときにこれからへんわがないように今日は第1回ということで後で懇親会というのが後で設置されていると思いますので、理事長にですね直接ここどういふんですかねとお話を聞けるのも今日のこの懇親会が最後のチャンスとなりますので聞き逃さないようにですねしっかりと理事長と話をさせていただけたらと思います。あとですね、ベテラン理事の方、色々意見もありました。例えばこの所信、もうちょっとこうやったらよかったんじゃないんですかといった質問もあったんですけど田中理事長はそこでこういう想いでということは何もおっしゃらなかったんですけど、必ず素晴らしい想いで素晴らしい所信が出来上がっているのだと思いますので、そういった部

分、また懇親会で本当のところをですねまた聞いていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。なにはともあれこの第1回がですね無事終わりましたことをうれしく思いましたし、今日から色々あると思いますけれども素晴らしい守山青年会議所の運動が展開されますことをお祈りといえますか確信いたしまして監事総評とさせていただきます。本日は本当にお疲れ様でした。

20.次回理事会開催日

<u>事務局</u>	10月3日（金）資料	
	10月6日（月）20:00～	第2回執行部会
	10月18日（土）資料	
	10月22日（水）20:00～	第2回理事会

21.閉会